

わたりだ

渡田小学校教育目標
やる気いっぱい
笑顔いっぱい
元気いっぱい

2026(令和8)年6月1日

川崎市立渡田小学校

体験からの学び

学校長 仙田 清孝

5月21日、6年生と一緒に国会議事堂、最高裁判所、日本科学未来館を見学してきました。当日はあいにくの雨模様でしたが、子供たちは「憲法と政治を知って、日本の未来を学ぼう～協力してたくさんの工夫を見つけよう!～」というスローガンを掲げ、意欲満々で見学に臨みました。最高裁判所では、建物の大きさや大法廷の重厚な雰囲気、圧倒されながら、裁判所(司法)の仕組みを肌で学びました。国会議事堂では、衆議院議場などを見学し、待機ロビーでは、地元選出の代議士自らが国会の仕組みについて分かりやすく説明してくださいました。そしてこのあと、子供たちに嬉しいサプライズが…

隣の学校への説明を終えて戻られる途中だった石破前総理大臣が、本校の子供の横を通り過ぎたのです。気づいた子供たちが声をかけると、優しく笑顔でこたえてくださいました。

6年生は、社会科で、日本国憲法の基本的な考え方や三権分立について学習します。政治や司法の最前線を実際に訪れたことで、教科書だけでは味わえない興味・関心や学びへの意欲がさらに高まったことと思います。ここで、子供たちの振り返りをいくつかご紹介いたします。

- 衆議院を見学してみて、日本の法律や予算などを決める大切な場所を見て歩いていると、政治が身近に感じられました。最高裁判所はふだん入れない場所で、とても堅い雰囲気、様々な判決が下る場所なので、少し緊張しました。
- 最高裁判所と国会議事堂に行って、これからの社会にもっと興味をもてる気がします。どちらもなかなかできない体験だったので、行けてよかった。
- 最高裁判所に行ってみて、大法廷の壁の形や絵にも意味があることを知って驚きました。そして、地方裁判所や簡易裁判所、家庭裁判所の役割が分かりました。国会では、本会議がされる場所を見てみて、こんな大勢で話し合いをして、1つのことを決めていると知ってすごいなと思いました。
- 最高裁判所や国会議事堂の建物にお金をかけているなどと思いました。作った人は、世界に「日本はこんなすごい建物を建てられるすごい国なんだ!」とアピールしたかったのかもかもしれません。

体験を通して学ぶ姿は、他の学年でも見られます。4年生はごみや水処理センターで社会の仕組みを学び、3年生は6月に市内めぐりで川崎市各区の様子などを見学してきます。5年生は先日の田植えに続き、秋には稲刈りを体験する予定です。2年生は夏野菜とサツマイモ、1年生はアサガオを大切に育てながら、植物の成長を学んでいます。

さらに、2年生は「ヤゴ・レスキュー隊」として、プール清掃の前にヤゴを救出し、トンボになるまで見守る活動に熱心に取り組んでいます。

このように、本校では現地に訪れて見学したり、実際に行き体験したりすることを通して、これからも子供たちの関心を引き出し、「やる気いっぱい」で学習を進められるよう取り組んでまいります。

5月から読み聞かせボランティア「キラぼん」がスタートしました。毎週火曜日の朝の時間を使って、1、2年生と山ゆり級の教室で、季節や子供たちの関心に合わせた絵本を読んでくださっています。子供たちも一緒に声を出して読んだり、問いかけに応えたり、時には静かに聞き入ったりと、本の世界を存分に楽しんでいます。読み聞かせをした本は、学校HPの「キラぼん」のページで紹介しています。

キラぼんの活動に興味があり、ご協力いただける方がいらっしゃいましたら、担任または学校までお気軽にご連絡ください。

